

# 青雲



14号 2012.3

発行人 / 一般社団法人島根県出雲地区建設業協会青年部会

# 「青雲」

題 字

前島根県知事 澄田信義氏



えにし  
『縁』

出雲の神様といえば大国主大神、“縁結びの神様”といますがこの縁結びは、単に男女の仲を結ぶことだけでなく、人間が立派に成長するように、社会が明るく楽しいものであるように、すべてのものが幸福であるようにと、お互いの生成の為つながりが結ばれる縁もあるのではないかと思います。

我々が縁を大切に一致団結し、縁＝絆の和を広げて行きながら青年部会らしい行動と自らの力で未来を切り開いて行こうではありませんか!!

優れた創造力と逞しき意志、勇氣と燃える情熱を持って!!

一般社団法人 島根県出雲地区建設業協会青年部会 総務広報委員会

# 青雲

14号 2012

contents

- 巻頭言／「この国の行方」  
一般社団法人 島根県出雲地区建設業協会青年部会 ..... ①②  
部会長 山口 弥
- 平成23年度卒業生より一言 ..... ③～⑦
- |          |         |              |
|----------|---------|--------------|
| 山口建設(株)  | 山口 弥    | 「後輩諸君へ」      |
| やたま建設(株) | 三原 昇    | 「卒業にあたり」     |
| (有)原 組   | 原 享 男   | 「青年部会を振り返って」 |
| 山本工業(株)  | 花 田 昌 彦 | 「卒業にあたり」     |
| 出雲土建(株)  | 小 村 伸 一 | 「卒業にあたり」     |
- 卒業生から贈る言葉 ..... ⑧
- 平成23年度新入会員紹介 ..... ⑨
- |           |         |
|-----------|---------|
| 岩崎建設(有)   | 岩 崎 利 行 |
| 内藤建設工業(株) | 内 藤 祐 馬 |
| (有)丸嘉土建   | 山 根 英 二 |
- 平成23年度事業報告
- ・経営研究事業報告  
藤井 聡 氏 講演会 ～公共事業が日本を救う～ ..... ⑩  
経営研究委員会 委員  
(株)中筋組 大野 剛
  - 「研修会」工事検査での評価点～優良工事を取るためには～ ..... ⑪～⑫  
経営研究委員会 副委員長  
(株)内藤組 内 藤 正 和
  - ・親睦事業報告  
～研修視察旅行～ ..... ⑬～⑭  
会員交流委員会 委員  
(株)三原組 三原 惇 志
  - ～第4回親善野球交流試合～ ..... ⑮～⑯  
会員交流委員会 委員  
山陰建設工業(株) 伊 藤 正 彦
  - ・地域貢献事業報告  
～2011海岸清掃～ ..... ⑰～⑱  
地域貢献委員会 副委員長  
ミシマ産業(株) 三 島 一 男
- 趣味「私の趣味……？」 ..... ⑲  
(株)フクダ 船 木 博 之
- 編集後記〈総務広報委員会 副委員長／佐藤 精 一〉 ..... ⑳



# 「この国の行方」



一般社団法人 島根県出雲地区建設業協会青年部会  
部会長 山口 弥

「この国はこれからどこへ向かうのだろうか」

最近、事あるごとにそう思うようになってしまった。

いや、「向かう」というより「流される」の方が正しいかもしれない。

我々業界の深刻さは今更言うまでもないが、「円高」「年金問題」「少子化」「就職難」「教育問題」「領土問題と国防」そして追い打ちをかけるがごとく襲ってきた大震災。

解消どころか負の連鎖は確実に広がっている。

この疾風怒濤の時代を乗り切るには、もはや個々の自助努力では到底克服出来ないレベルにまで達してしまっただけの感がある。

しかし、その発端から今日までの大きな原因は「政治」に集約されて良い。

現政権の体たらくは、もはや論ずることさえ無意味に思えて来るのだが、その基礎を築いたのは紛れもなく前政権の失態あつての事であり、互いの論争もどこか空虚に聞こえて来るのは私だけであろうか。

そんな中、やたら元気な関西人がここぞとばかりに打って出た。いつものごとくメディアも煽りに煽って、本人は既に天下でも獲ったかのような勢いでまくし立てる。それを見て既成政党も手のひらを返すように、シッポを振って寄って来るのだから呆れてモノも言えない。この人たちには「信念」の二文字が根本的に欠落しているのではないだろうか。

「現行政治をぶっ壊す！」

昔、よく似たスローガンをブチまけて、壊すだけ壊したあと、何の創造も無いまま、美味しい所だけ持って行った政治家がいた。

「希望」を求める国民がこの言葉とパフォーマンスに扇動され、熱狂するのはごく自然の流れである。聞いていてまんざら間違いではない事もあるのだが、すべてが正しいかと思えばそうとも言えない。客観的かつ冷静に見る目を持っていないと、またもや大ヤケドを負いそうだ。

ただ、日本の政治にとって大きな転換期が訪れるのは間違いないと思う。

今となってはどんな形にせよ、良い方に転換してくれる事を切に祈るばかりである。

私の部会長任期も残りわずかとなってきた。

冒頭偉そうに政治批判はしてみたものの、自分はこの二年間いったい何が出来たのか？何が好転したのか？自問自答してはみるのだが、後悔の念しか浮かばない。

何より悔しい思いをしたのは、昨年の東日本大震災直後である。

その時、我々青年部は全くの無力であった。

我々は日本人として、ましてや建設業に携わる者の一人として、そして肉体的にもタフな青年として、即座に行動しなければならなかった。

居ても立ってもおれず、各方面に談判したが、いずれも「現地は混乱している上、状況把握も困難、指示系統も確立されていない現状では無理」しまいには「とりあえずは現地の建設業界のみで対応する」…さすがにこれには呆れた。

確かに数日間は現状把握も必要であろうし、二次災害の危険も十分にはらんでいる。死者、行方不明者もかなりの数に達していた。慎重に対応するのは当然の事だと思う。しかしその後、半月、一か月、二か経過してもこの状況は変わる事は無かった。そしてズルズルと一年が経とうとしている。

何のために全国の建設青年部会のネットワークがあるのだろうか？

「我々は本当に動けなかったのだろうか。動く方法を模索したのだろうか。いや動かなかっただけではないだろうか。それとも何か大きな力に押しつぶされたのか…。」

震災直後から多くの国内外のボランティア組織や、有志の団体などが精力的に活動している映像を数多く眼にした。今でもそんな映像が流れるたびに、怒りにも似た強い自責の念に駆られる。

建設業界の弱体化が進んでいる。

全国の建設業者が、国土を守り、安全安心な社会資本を作るという「高い志」と「気概」を忘れていないと信じてやまないのだが、もっと胸を張っていいはずの我々が、自ら委縮してしまっているように思えてならない。

今後、そんな建設業界の次世代を担う我々青年部会メンバーの、使命と責任はとてつもなく大きい。

若人らよ「誇りを失うな」

感じればまずは「行動せよ」

今のうち「恥をかいとけ」

そして「信頼できる友をたくさん作ろう」

私も「同じ釜の飯を食った友を決して忘れない」

## 後輩諸君へ

山口建設(株) 山口 弥

このたび、いよいよ卒業することになった。

本会設立の平成9年から15年間、沢山の先輩諸兄をはじめとする多くの同志達に支えられ、成長させていただいた事に深く感謝申し上げたい。

この間、いろいろな事業に参加させていただき、その都度多くの「徳」を得たように思うが、何よりの財産は「人」。お陰様で在籍期間が長かった分だけ、本当に多くの「人」との出会いがあった。このかけがえのない財産は、今後ますます厳しい環境下に置かれるであろう一人の経営者として、必ずや大きな力になってくれると私は信じて疑わない。

そこで後輩諸君に最後に言っておきたいのは、この会に在籍さえしていればこの「徳」が得られるかという、そんなに甘いものではないということ。

まずは参加しなければ何も始まらない。

事業参加は当然だが、その後の酒席にこそ「徳」は溢れている。最初は取っつきにくいと思っていた人が、膝と膝を突き合わせ酒を酌み交わすうちに、「本当はこんな人だったんだ」と、自分の人を見る目の無さを嘆いた。

ある時は、私がまだ駆け出しの営業マンだった頃の青年部会事業後の懇親会の席上、私はいつも付き合いのある某社長さんを、親しみを込めて「〇〇ちゃん」と呼んでいた。そこへ別の青年部会の某社長がやって来て、スナックの表まで私を連れて行き、そこで私はこっぴどく叱責された。

「お前は何も分かっとらん！会社の大きい、小さいは問題じゃない。相手は一会社を背負った社長だろうが！その人に〇〇ちゃんとは貴様何様のつもりだ！これからは〇〇さんか、〇〇社長と呼べ！ちゃん付けで呼びたければ、せめてお前が一人前の社長になってからにしろ！」そう言い放つと、今度はニコッと笑って「言いたいのはそれだけだ。戻って飲むぞ」と、なにごとくも無かったようにまた飲み続けるのだ。「親しき仲にも礼儀あり」日常よく聞く言葉だが、ここまでその意味を痛感させられた事は無かった。

「会社の拡大」「金儲け」「地位と名誉」誰もが欲求を持っている。それ自体は決して「悪」ではない。生きとし生けるもの全てに元来備わった本能である。人間の価値とは、その人が生きる過程で「成功と失敗」「笑いと涙」「出会いと別れ」を繰り返して来た中で培ってきた「人間力の大きさ」にあると私は確信している。

この青年部会には「人間力の肥し」が溢れている。そしてこの中にこそ「仕事のチャンス」「生き残りのヒント」が詰まっている。

問題は、君がこれを獲りに行く気があるのかどうか。

勇気も覚悟もいらない。参加していれば結果は勝手についてくる。

会費だけ払っているくらいなら、会社の経理的な面からもさっさと辞めた方がよっぽど合理的だ。

もの出来るかどうかは、あくまで君次第だ。